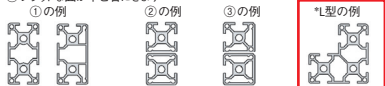


## L型の向きを変更・注釈を一部追加

### ■フレームの置き方の基準

フレームの左右を決める基準となるフレームの置き方は下図の通りとなります。

- ① 縦長に置きます
- ② フラットな面が下にきます
- ③ フラットな面が下と右にきます

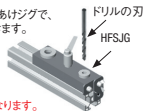


Ⓧ縦長でフラット面があるフレームの場合、①が優先されます。 \*L型の場合穴加工は、垂直も水平も長手方向のみになります。

### ■フラット面にも穴が開きます

フラット面のあるフレームにて、その向きにレンチ穴加工をご利用頂くと、フラット面にも穴があきます。フラット面の美観にこだわりたい方は、レンチ穴なしで締結可能なシンプルジョイントキット (P.667) がお勧めです。

- レンチ穴は、P.786の穴あけジグで、お客様がつけることもできます。

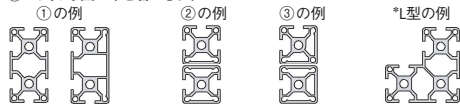


## <貼り付け用>

### ■フレームの置き方の基準

フレームの左右を決める基準となるフレームの置き方は下図の通りとなります。

- ① 縦長に置きます
- ② フラットな面が下にきます
- ③ フラットな面が下と右にきます



Ⓧ縦長でフラット面があるフレームの場合、①が優先されます。 \*L型の場合穴加工は、垂直も水平も長手方向のみになります。

### ■フラット面にも穴が開きます

フラット面のあるフレームにて、その向きにレンチ穴加工をご利用頂くと、フラット面にも穴があきます。フラット面の美観にこだわりたい方は、レンチ穴なしで締結可能なシンプルジョイントキット (P.667) がお勧めです。

- レンチ穴は、P.786の穴あけジグで、お客様がつけることもできます。

